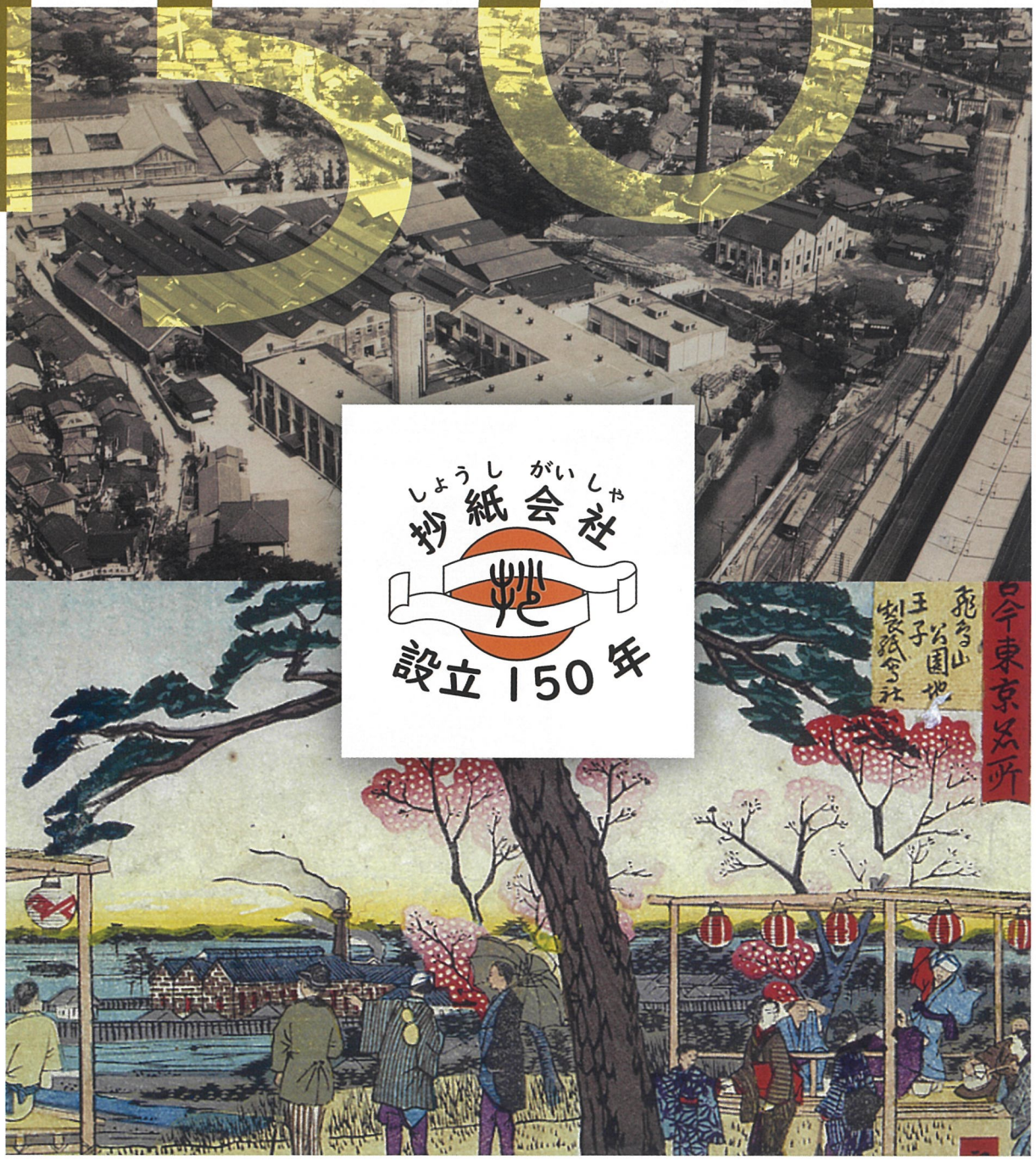
150



企画展

抄紙会社150年

洋紙発祥の地・王子

2023年 9月16日(土)～12月17日(日)

公益財団法人 紙の博物館
〒114-0002 東京都北区王子1-1-3(飛鳥山公園内)
TEL (03) 3916-2320　FAX (03) 5907-7511
https://papermuseum.jp/
PAPER MUSEUM

開館時間　10:00～17:00（最終入館16:30）
入館料　一般 400円、小中高 200円
展示期間　2023年9月16日（土）～12月17日（日）
前期：9月16日(土)～11月5日(日)　**後期：**11月8日(水)～12月17日(日)
開館中の休館日　月曜日(9/18(祝)、10/9(祝)は開館)、9/19(火)、9/20(水)、9/26(火)、10/10(火)、10/11(水)、11/7(火)、11/24(金)、12/7(木)

企画展

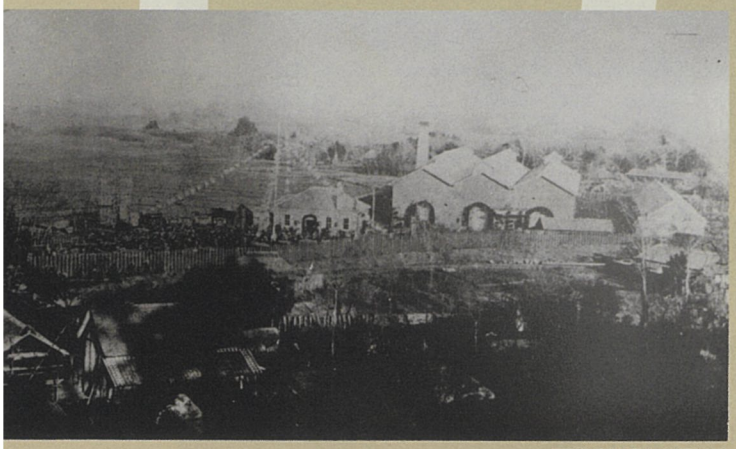
抄紙会社150年
洋紙発祥の地・王子

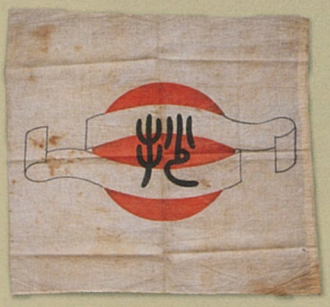
今年2023年から遡ること150年――　明治6年（1873）2月12日、近代日本経済の父として知られる渋沢栄一の提唱により、抄紙会社が設立されました。抄紙会社は、西洋の技術を導入して国内で洋紙を製造する会社で、現在の王子ホールディングス(株)、日本製紙(株)のルーツとなる会社です。

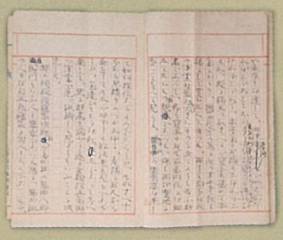
明治8年（1875）12月16日、2年の準備期間を経て、東京・王子に工場が開業しました。この工場をきっかけに、王子地域は東京の一大工業地帯として発展していきます。

抄紙会社は、後に王子製紙（株）王子工場となって生産を続けていましたが、太平洋戦争末期の昭和20年（1945）4月に空襲を受けて廃止されました。戦後、明治初期に大規模な製紙工場を操業したことが評価され、工場跡地に「洋紙発祥之地」記念碑が建てられました。

抄紙会社設立150年の節目に、日本の近代製紙業の原点ともいえる抄紙会社のあゆみと、東京・王子の工場跡地が洋紙発祥の地として受け継がれた歴史を紐解きます。

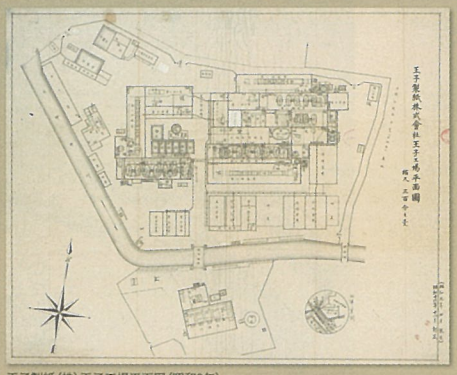

写真「抄紙会社開業式」（明治8年）


開業式で飾られた小旗（明治8年）


「王子製紙株式会社回顧談」（大正3年）

第一回内国勧業博覧会
龍紋賞牌（明治10年）

石版画「王子飛鳥山真景」（明治28年）


王子製紙（株）王子工場平面図（昭和9年）

期間中のイベント

抄紙会社150年展ミュージアムトーク
（イベントホールでの解説）

10月9日（月・祝）　13:30～14:00

講師：当館学芸員　**定員：**30名
費用：無料（入館料のみ）　**申込：**8/1（火）～10/1（日）

学芸員と歩く 紙の工場跡地
（イベントホールでの事前解説と現地散策）

10月28日（土）　10:30～12:00

定員：10名
費用：無料（入館料のみ）　**申込：**8/1（火）～10/14（土）

紙すき教室（牛乳パック再生原料のはがき作り）

毎週土・日曜日・9月18日（祝）13:00～14:30

定員：先着50名　**費用：**無料（入館料のみ）
申込：当日10時～14時までエントリー券を配布
（定員に達し次第終了）

抄紙会社150年展記念講演会 I
王子製紙が王子町の選挙権を持っていた ― 等級選挙と法人選挙権 ―

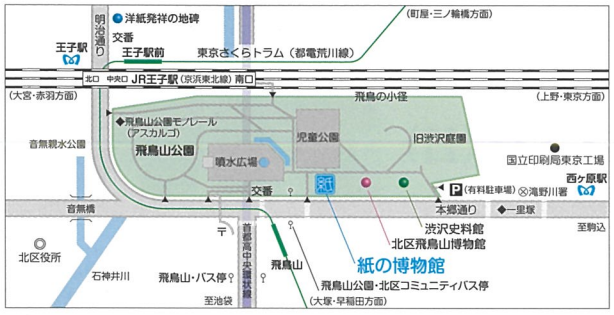
11月3日（金・祝）　13:30～15:00

講師：黒川徳男氏（國學院大學 文学部 兼任講師）
定員：30名（かみはく友の会優先枠あり）　**費用：**無料（入館料のみ）
申込：8/1（火）～10/19（木）

抄紙会社150年展記念講演会 II
日本近代製紙業の創業と成立を振り返る

11月23日（木・祝）　13:30～15:00

講師：西村博之（当館学芸部長）
定員：30名（かみはく友の会優先枠あり）　**費用：**無料（入館料のみ）
申込：8/1（火）～11/8（水）



紙の博物館へのアクセス

JR京浜東北線
王子駅（南口）　徒歩5分

東京メトロ南北線
西ヶ原駅　徒歩7分

東京さくらトラム（都電荒川線）
飛鳥山停留場　徒歩3分

都営バス（王40甲・王55・草64系統）
飛鳥山停留所　徒歩4分

北区コミュニティバス
飛鳥山公園停留所　徒歩3分

イベントのお申し込み

かみはく友の会のご入会

抄紙会社（しょうしがいしゃ）設立150年

明治6年（1873）、渋沢栄一の提唱で洋紙をつくる「抄紙会社」が設立されました。工場が建設された東京・王子は「洋紙発祥の地」と呼ばれています。

次回の展示　ミニ展示「伝承切紙の正月飾り」　2024年1月6日（土）～2月25日（日）